

令和6年度第3回小金井市放課後子どもプラン運営委員会

令和7年3月10日（月）午前10時30分～

第二庁舎 801会議室

次 第

1 議 事

(1) 第2回放課後子ども運営委員会議事録について（事務局より）

(2) 令和6年度放課後子ども教室について（各コーディネーターより）

(3) 意見・提案シートの導入について（事務局より）

(4) 令和5年度放課後子ども教室報告書について（事務局より）

2 その他

(1) 各員より意見等

一小放課後子供教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	161 日／年間	
参加人数	93 人／1 日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	○
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	

■主な活動場所
第一小学校校庭、体育館、算数教室、ミーティングルーム、図書室

■開催日
月～金 14:20～17:00（11 月～2 月 16:30）

■参加対象
第一小学校内の学校区在住の小学生

■申込み手続き
学校を通じて配布される参加申込書による

活動紹介

令和6年度、一小放課後子供教室は、月・火・木曜日に校庭開放、水・金曜日に体育館開放を基本として開催しました。4 時間授業の学年の児童は再登校で、5・6 時間授業の学年の児童は直接参加できます。全学年 4 時間授業の日に限り、4 時間授業後、再登校なしで参加できるよう繰り上げ開催も行っています。

校庭開放・体育館開放は、放課後の居場所を提供する自由遊び中心ですが、不定期で、企画ものの教室も開催しました。企画ものの教室は、以前から放課後子供教室にご協力いただいている地域の方や学生サークルによるもので、工作、手芸、集団遊びがありました。

また、一小では 4 年生以上のジュニアスタッフ制度を実施しており、ジュニアスタッフによるイベントの開催もありました。会議を行い、自分たちが考えたイベントの企画や準備をし、実施しました。学童とは避難訓練をいっしょに実施するなど、連携・協力しています。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 コーディネーターは一小保護者 OG（PTA 役員経験）、放課後子供サポーターは保護者や地域の方が担っている。

■配置人数 5～6 名/回

■運営体制 一小放課後子供教室推進委員会が企画・運営について協議・決定している

〇〇区市町村の取組

■全教室数

■事業目的

■事業の成果等

第二小学校放課子ども教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	-
開催日数	187 日／年間(3 月分見込む)	
参加人数	79.3 人／1 日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	週 2 回
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	-

■主な活動場所

多目的ルーム、体育館、校庭、中庭

■開催日

月曜～金曜、13 時 30 分～17 時

■参加対象

原則全校児童および地域児童（幼児は保護者同伴）

■申込み手続き

登録カードの提出

活動紹介

- ・2013年「第二小学校放課後あそび広場」として本格始動
- ・月曜～金曜：室内自由遊びおよび校庭遊び
水曜、金曜：学習アドバイザーの指導の下、工作や手芸、書道、運動などの体験教室を実施
- ・児童が主体的に過ごせる居場所として、校庭遊び、室内遊び共に自由遊びを基本として行っている。
＊教室にあるもの：ボール各種、ラケット類、大縄、短縄、フリスビー、独楽、おはじき、あやとり、将棋、オセロなどのボードゲーム各種、スタッフ手作り知育玩具各種、UNO百人一首などのカードゲーム各種、ブロック、パズル、色鉛筆、ペン、糊、ハサミ、セロテープ、折り紙、コピー用紙、画用紙、厚紙などなど
- ・活動当初から、学童保育所と連携しており、いつでも自由に学童から参加でき、週2回の体験教室には、学童保育所の児童も参加している。
- ・2022年度より、大学生のスタッフも活動に加わり、運動量の多い活動や、あそびを盛んに行っている。
- ・図書館団体利用を活用しスタッフが厳選した本を一か月ごとに入れ替え設置している。また、定期的にお話を実施し、本に関連した活動につなげている。
- ・保護者、学校との連携は、ホームページを通して行っている。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 コーディネーター（地域）、安全管理員（地域、保護者）
- 配置人数 通常開催時5名、体験教室実施時6名（学習アドバイザー1名含む）
- 運営体制 第二小学校放課後子ども教室推進委員会（原則年3回：安全管理員、コーディネーターの会：学校、学童保育所、PTAも適宜参加）、協議会（原則年2回：行政、学校、学童保育所、放課後子ども教室の会）、スタッフミーティング（随時・関係スタッフで行う）

第三小学校放課後子ども教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	-
開催日数	156日／年間（3月分見込む）	
参加人数	約80人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	月1、2回
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
		○

■主な活動場所

校庭、体育館(バドミントン)、図書室、視聴覚室、第2理科室

■開催日

月・火・水・木(月2回)・金

帰りの会終了後～夕焼けチャイム30分前まで

水曜は下校時間が早いいため変則

■参加対象

原則全校児童および地域児童

■申込み手続き

参加カード(緊急連絡先明記)を毎回持参。登録制ではない。

活動紹介

- 月、水、金：校庭遊び 水：室内開放(主に図書室)
月：バドミントン教室(主に体育館) 火：室内自由教室「てらこや」(第二理科室)
木：英語コミュニケーション教室「えいこむ」 年に数回：体験教室(防災・職業)不定期
低学年保護者会日の低学年見守り：年3～4回(主に体育館)
- ✧ 校庭遊び：児童が自由に遊ぶ、学童の友達や異学年とも遊ぶ。雨天や熱中症の危険があるときは中止。人気の遊びは、バスケット、ゴムボールによる野球、サッカー、砂場、ブランコ、一輪車、大縄跳び、フリスビー、竹馬、フラフープなど
- ✧ 室内開放：主に図書室で、児童が読書や宿題・トランプ・折り紙など自由に過ごす。
- ✧ バドミントン教室：経験者による基本指導を行う。安全に配慮しラケットの取り扱いも指導している。
- ✧ 「えいこむ」：毎月のテーマに沿い、関連する単語や絵が書かれたフラッシュカードを手作りし、ジェスチャーゲームや単語の反復練習を行う。講師の言語は英語のみ。楽しく、集中して行うことで、英語への興味を引き出している。事前申込がすぐ一杯になる人気教室。最後に英語絵本を読み聞かせる。
参加児童中の学童の割合は40～50%
- ✧ 「てらこや」：室内の居場所として設ける。図書室が高学年授業で使用できないため、自由学習、宿題、折り紙やトランプをしったりして過ごせる。最後に紙芝居を読み、温かい雰囲気の中で締めくくっている。
- 課題
雨天時に校庭にかわる活動場所が確保できない。(中止にせざるを得ない)
空き教室がない(高学年の授業があるため、低学年の室内の居場所が確保しにくい)



見守りスタッフについて

- 23名が登録。構成は保護者13名、地域・卒業生保護者7名、大学生2～3名、各配置人数は、校庭開放5～6名、図書室開放3名、その他状況に応じ配置。緊急時の対応について確認する機会を設けている。

第四小学校放課後子供教室【小金井市】

活動場所	学校内 ○	学校外 -
開催日数	〇〇日／年間（3月分見込む）	
参加人数	27人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	年数回
学習活動の特徴	自主学习	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	-

■主な活動場所
校庭、第一会議室、第二会議室、図書室、視聴覚室

■開催日
月曜～金曜、14時30分～16時30分
（11月～2月と金曜日は16時まで）

■参加対象
原則全校児童および地域児童（幼児は保護者同伴）

■申込み手続き
児童登録カードの提出、参加カードを作成

活動紹介

<開催内容>

- ・月曜日 校庭あそび・室内あそび（ボードゲーム）
- ・火、木、金曜日 校庭あそび
- ・水曜日 室内あそび（自由工作、ボードゲーム、学習アドバイザーによる教室）
- ・校庭あそびでは、地域の高齢の方から大学生まで幅広いスタッフで、子どもたちが色々な年代との交流が持てている。
- ・室内あそびにおいては、ボードゲームを大人も一緒に楽しむことで、大勢でゲームをする体験をし、お互いに新たな学びもある。
- ・学習アドバイザーによる教室では、子どもたちの体験だけでなく、見守りスタッフも、経験豊富な学習アドバイザーより、子どもの接し方等学ぶ機会になっている。

<課題>

- ・令和7年度より、学童が学校内にも設置されることになり、学童との話し合いを行った。初めてのことなので、開催しながら色々な課題が出てくると思われるので、学童と協力しながら、解決していく必要がある。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 コーディネーター（地域）、安全管理員（地域、保護者）
- 配置人数 校庭遊び5、6名、室内遊び5名、教室（学習アドバイザー1名＋配置4名）
- 運営体制 楽しい四推進委員会 3回/年、学校と来年度についての話し合い（年度末）、協議会（行政、学校、学童保育所、放課後子ども教室）

東小学校放課後子供教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	-
開催日数	180 日／年間(3 月分見込含む)	
参加人数	104 人／1 日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	年数回
学習活動の特徴	自主学习	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	-

■主な活動場所

校庭、体育館

■開催日

月曜～金曜 6 限終了後 15 時 30 分～17 時

■参加対象

原則全校児童および地域児童（幼児は保護者同伴）

■申込み手続き

学校を通じて登録用紙を配布（イベント毎に申込み）

活動紹介

令和6年度
＜主な活動＞

放課後の校庭開放

月～金 15時半～17時 校庭開放/体育館使用（宿題やカードゲームなどの室内遊び）

雨天時は学童と育館を半面ずつ使用、開放

対象児童は全学年で6時間授業の児童はそのまま参加、その他の児童は再登校

午前授業の日は15時開催

子どもたちは校庭で学童児童とも一緒に遊んでいます。東小は学童と一体型の連携をとっている
ので、校庭では全ての児童をまるごと見守りをしています。学童スタッフの方々とも見守り中に
危険箇所など情報共有をしたり、雨天時の体育館使用を確認したりと協力しあっています。

＜プログラム活動＞

「東小おやじの会」

親子で参加できるイベント開催

年数回 夏休み、土日

夏休みの水てっぽう大会 新聞紙チャンバラ 音と光のふしぎ体験 など

「ちＱ人」

留学生との国際交流イベント

年数回 平日の放課後

がいこくの人と遊ぼう ちＱ人のミニ運動会 ちＱ人とハロウィン ちＱ人のお正月 など

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 コーディネーター（PTA 役員保護者 OG）、
サポーター（現役保護者、保護者 OB・OG、大学生、）
- 配置人数 校庭開放 サポーター 4～5 名、
プログラム活動 学習アドバイザー 1 名 サポーター 3～5 名
（国際交流イベント/土日親子交流遊びなど）
- 運営体制 東小学校放課後子ども教室推進委員会
（交流イベント協力団体 「東小おやじの会」「ちＱ人」）

前原小学校放課後子供教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	-
開催日数	156 日／年間(3 月分見込む)	
参加人数	155 人／1 日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	年数回
学習活動の特徴	自主学习	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	○	-

■**主な活動場所** 校庭（悪天候時は室内遊びに振替。但し、地域未来塾開催日は振替なし）

■**開催日** 月曜～金曜、13 時～17 時（但し、冬期は 16 時 30 分終了）

■**参加対象** 原則、全校児童および地域児童（幼児は、保護者同伴）

■**申込み手続き**
登録カードの提出

活動紹介

2009 年開始当初から、「前原の子どもたちは地域で見守る」をコンセプトに、多世代のスタッフが、学童児童を含む 100 人～200 人近い子どもたちを日々見守っています（現在、スタッフは 19 歳の学生、20 代の市内児童館ボランティア、前原小卒業生、在校生保護者、卒業生保護者、在校生祖母（70 代）まで、約 30 名が登録中）。

- ・週 5 日制、全・全日開催中
- ・児童の主体性・自主性・創造性を重んじた居場所として、自由遊びを基本としている
 - *校庭遊具：一輪車、ボール類、バット、ベース、簡易ネット、ラケット類、フリスビー、フラフープ、ホッピング、大縄、短縄、大縄、駒、けん玉など
 - 他に、サッカーゴール学校 1 組、FC 前原 3 組借用中
 - *室内遊具：筆記用具、色鉛筆、色ペン、糊、ハサミ、テープ類、折り紙、コピー用紙、画用紙、厚紙、トランプ、カルタ、カードゲーム、ボードゲーム、あやとり、お手玉、おはじき、手作りゲーム・玩具など
- ・水曜日の自由工作では、スタッフが集めた廃材を使って参加費無料で実施中
- ・R3 開始の地域未来塾（月水金開催）との連携で放課後の居場所が更に充実
- ・課題…4 月～2 月までの中止 27 回のうち 18 回が空き教室不足のため（他 2 回学校都合、7 回地域未来塾開催日）
 予算の増加、児童数の増加など、喜ばしい反面、空き教室不足のために事業の後退が懸念される（開催日数の減少、天候に左右される不安定な運営による子どもやスタッフ離れ、学童保育所のライトユーザーの受け皿としての機能不全など）
 また、居場所の確保について、市内小学校 9 校は同様の状況下であり、本事業の推進のためにも 1 年生教室の利用も視野に入れるなど、運営委員会での検討と舵取りをお願いしたい

コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集** コーディネーター（地域）、安全管理員（地域、保護者）
- 配置人数** 校庭遊び 6 名前後、室内遊び 4 名、自由工作 3 名（学習アドバイザー 1 名）
- 運営体制** 前原小学校放課後子ども教室推進委員会（年 3 回：安全管理員、コーディネーターの会：学校、学童保育所、PTA も適宜参加）、協議会（年 2 回：行政、学校、学童保育所、放課後子ども教室）、終わりの会（毎日終了後に当日スタッフで行う）

本町小学校放課後子供教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	-
開催日数	186日／年間（3月分見込む）	
参加人数	60人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	
学習活動の特徴	自主学习	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
		○

■主な活動場所

室内教室（低学年算数教室）、校庭、体育館

■開催日 月～金曜日 14：20～16：30
（※低学年が4時間授業の時は13：00から）

■参加対象

本町小学校区の児童、幼児（保護者同伴）も可

■申込み手続き

初回参加時に登録申込書を提出する

活動紹介

令和6年度も、年間を通して月曜から金曜の週5日、室内教室と校庭開放を開催できました。毎日、5時間目が終わった時間から室内教室（低学年算数教室）を開催し、6時間目が終わった時間から校庭遊び（雨天・高温時は体育館遊び）を実施しました。また、全校4時間や低学年4時間の時は、時間を早めてスタートしそのまま参加できるようにしています。



■室内教室でできること■

宿題、自由工作（空き箱、ストロー、布、毛糸などを使った工作）
折り紙、けん玉、ミサंगाやシュシュづくり、季節の工作（スタッフが企画。母の日のカーネーション、父の日カード、七夕飾り
ハロウィン工作、クリスマスリース、お雛様など）

■校庭遊びでできること■

ミニサッカー、野球（プラバット・ゴムボール）ドッジボール
ドッジビー、一輪車、バドミントン、縄跳びなどの自由遊び
（*子どもたちは、自由に室内と校庭を行き来して遊べます。）



<トピックス>

★近隣の学芸大学大学生が、月に数回自然素材を使ったアート教室を開催してくれた（未来塾と連携）。また、教育実習時に特別開催として「ラクロス体験教室」を開催してくれた。

★2～3月は、本町小OBの現大学生がサポーターとして参加してくれ、子供たちと鬼ごっこなどをして遊び、たいへん子どもたちに人気であった。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 コーディネーター（地域）、子どもサポーター（地域、保護者）

■配置人数 基本6名/回（校庭遊び4名、室内遊び2名）

■運営体制 本町小学校放課後子ども教室推進委員会が企画・運営について協議・決定している。（基本年3回、推進委員会を開催）

※R6年度3月現在：子どもサポーター 23名

緑小学校放課後子供教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	-
開催日数	190日／年間(3月分見込む)	
参加人数	140人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	年15回
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム
	○	-
学童クラブとの連携	一体型	連携型
	-	○

■主な活動場所

校庭、図書室、体育館、算数少人数教室

■開催日

月～金曜：下校時刻～16時30分

土曜：9時～12時 年3回

■参加対象

原則全校児童および地域児童（幼児は保護者同伴）

■申込み手続き

登録用紙の提出（年度毎）

活動紹介

・(月)～(金)：校庭遊び／室内遊び 同時開催

その他、工作教室（随時）、スポーツ体験教室（年12回）

全学年、帰りの会終了後、そのまま参加可。（1年生は5月GW明けよりそのまま参加可）

・(土)：レッツ！おやじの会（年3回）

・毎日、校庭遊び、室内遊びを同時開催しており、雨天時や猛暑日には校庭を体育館活動に切り替えるため、原則、雨天中止なし。

・室内でも校庭でも「自由な時間を過ごす」が基本。月一回程度、体育館のプログラム活動として、地域の方々の指導による卓球やバスケット教室など「ほうかごスポーツ」あり。

・5～6年生のお手伝い「ジュニアボランティア」あり。

・みどり学童保育所と連携しており、お便り、チラシなどの情報共有、また、緑児童館も含めた避難訓練などを同時に行う。

・緑小は令和2年度よりコミュニティー・スクールになり、緑小地域学校協働活動の取り組みのひとつとしての「放課後子ども教室」と、都の事業である「地域未来塾」を活用した学習支援もっており、総称して「**みどりのほうかご**」として親しまれている。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 コーディネーター/放課後子どもサポーター/学習アドバイザー（地域、保護者、大学生）

■配置人数 校庭遊び5～6名、室内遊び2名、工作教室（学習アドバイザー1名）、スポーツ体験教室4名（うち学習アドバイザー1名）

■運営体制 緑小学校放課後子ども教室推進委員会（原則年3回：コーディネーター、放課後子どもサポーターの推進委員会）、協議会（原則年1回：行政、学校、学童保育所、コーディネーター）

南小放課後子ども教室【小金井市】

活動場所	学校内	学校外
	○	
開催日数	182日／年間（3月分見込み含む）	
参加人数	約22人／1日平均	
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型
	○	○
学習活動の特徴	自主学习	学習プログラム
	○	
学童クラブとの連携	一体型	連携型
		○

■主な活動場所

校庭、体育館、低学年少人数教室など

■開催日

月～金曜日 14:30～17:00（11～1月は16:30まで）

※状況によっては、13:15～開催する時もあり

■参加対象

南小学校内の学校区在住の小学生

■申込み手続き

緊急連絡票の提出

活動紹介

毎月発行する「お知らせ」で各教室の予定を告知。（教室によっては定員ありの事前申し込みの教室がある。）希望者は保護者の同意があれば、帰宅しないでそのまま参加できる。

【わくわく教室】月曜日、又は水曜日に開催

保護者、地域の方が学習アドバイザーとして協力のもと、陶芸・クラフト工作・手芸などのアイデア盛りだくさんの教室を開催。教室の広さの関係上、事前申し込みの10～25名の定員を設けて、希望者が定員を上回った場合は抽選を行い、可能な限り参加できるように、配慮している。今年度も引き続き、東京都の「専門人材を活用した活動プログラムの充実事業」を利用し、科学実験教室、ボッチャ体験教室、和太鼓体験教室を実施した。

【室内あそび】月曜日、又は水曜日に開催

宿題や読書、ボードゲーム、リサイクル品などを使った工作を作ったりして、自由に過ごすことができる。定員は設けずに開催。

【校庭あそび】火・木・金曜日に開催

放課後の校庭で、遊具やボールなどを使って自由に遊べる。放課後までの時間は、室内あそびを実施。

雨天時などで中止にならないよう、体育館あそびや室内あそびに変更できるよう設定している。体育館や校庭の使用については、同じく使用している学童保育所の先生とも連絡を取り、色々な面で連携・協力をしています。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 コーディネーターは南小保護者OB、放課後子どもサポーターは保護者や地域の方が担っている。

■配置人数 4～6名/回

■運営体制 南小学校放課後子ども教室推進委員会が企画・運営について協議・決定している

意見・提案シート

◆放課後子ども教室運営委員会への検討内容についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、生涯学習課にご提出ください。次回開催の１０日前に届いたものは、放課後子ども運営委員会で資料として配付します。

[illegible]

提出日 年 月 日 ※原文のまま配付しますので、氏名について
も公開の対象となります。

氏 名

(送付先)

小金井市教育委員会生涯学習部生涯学習課

〒184-8504 小金井市前原町3-41-15 連絡先：042-316-6600

FAX : 042-383-1133 E-mail : k020199@koganei-shi.jp